



キンギョはねないの、どうやってねるの

キンギョもねむる

魚も、ほかの動物と同じように、かならず、ねるはず。動物は、ときどき、ねむって体を休める時間がないと、生きていけません。ただ、魚には、まぶたがありませんし、ねているのかどうか、確かめるのがむずかしいのです。

キンギョは夜、ねる

飼っているキンギョを、夜、かい中電燈で観察すると、水草や、岩のかげで、じっとしているのが見られます。昼間のように、活発に動き回っていません。どうやら、目を開けたまま、ねているようなのです。

種類によって、昼間、ねるものもいる

動物は、それぞれ、活発に動き回る時間が決まっています。人間は、昼間動き回り、夜はねています。鳥の仲間も、こん虫も、昼活動するものが多いのですが、夜活動する夜行性のネコや、鳥の仲間のフクロウ、こん虫のカブトムシなどもいます。

魚も、種類によって、昼活動するものや、夜活動するものがあります。アナゴなどは、昼間は砂に体をうずめて、ねています。ベラの仲間は、日が暮れると、海底の砂にもぐってねむり、太陽が出ると、起きて活動をはじめます。

キンギョは、昼間活動し、夜はねる、魚なのです。キンギョの水そうも、夜は、暗くて静かな場所に、おいてやりましょう。（監修・安部 義孝）

